

令和7年度 学校経営方針

1 学校経営の基本方針

笑顔と活気があふれる特色ある学校づくり

- (1) 「わかった」「楽しい」を大切にする授業の推進
- (2) なかよし活動による人間関係構築力の育成
- (3) 日常的な体力向上への取り組みの推進
- (4) 外国語科・外国語活動の学習の充実によるコミュニケーション能力の育成
- (5) 地域学校協働活動の充実による多様な学びの場の拡張
- (6) 健康・安全教育の充実による自己管理能力の育成

2 学校教育目標

教育関係法規等に則し、県・市教育委員会の基本方針及び重点施策等を踏まえ、児童や地域の実態、保護者の期待や願いに基づき、次の通り学校教育目標を定める。

主体的に学ぶ力と豊かな心を持ち 健康でたくましい児童の育成

【児童の努力目標】

む	向かって進む勇気をもちます(挑戦)
こ	根気強く課題を解決します(知)
う	美しい言葉で話します(徳)
や	休まず登校 元気に遊びます(体)
ま	毎日やる気 友だちと一緒にがんばります(生きる力の根幹)

【教師の努力目標】

む	向かう先を見通して計画的に実践します
こ	子供達の目線で考え、子供達の声に耳を傾けます
う	美しい言葉で子供達に話しかけます
や	やるべきことには最後まで取り組ませます
ま	毎日、やる気いっぱい 日々研鑽に励みます

3 学校経営の重点

(1) 「わかった」「楽しい」を大切にする授業の推進

- ・学級での人間関係の安心感がわかる授業の基盤であることを踏まえ、生徒指導の機能を踏まえた授業を推進し、学級経営を充実していく。
- ・授業において、話し合い、観察・実験、記録、要約、説明といった言語活動を一層充実させ、基礎的・基本的な知識・技能の習得とそれらを活用して課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等を育成する。
- ・各時間における振り返りを重視し、書く活動の組み込み方や振り返りの視点を工夫する。
- ・操作活動や体験活動、また、伝えたい内容を図表、ポスター等でまとめ直す等の活動を多く組み込み、理解を深める。

(2) なかよし活動による人間関係構築力の育成

- ・なかよし活動を特別活動の主軸に据え、年間を通して計画的に異年齢集団活動を進め、良好な人間関係を構築する能力を育成する。
- ・活動への参画の仕方を発達段階に応じて指導し、目的達成のために努力させ達成感を味わわせることで自己有用感を高め、次への活動の原動力とする。
- ・なかよし活動では6年生に、うきうき活動では3年生に、企画運営を行わせることを通して、主体性や協同性を育成する。

(3) 日常的な体力向上への取り組みの推進

- ・縄跳び運動やマラソン等に取り組む機会を設け、進んで体を鍛える心を育む。
- ・ミニ大会を設定し、運動を楽しむ心を育む。
- ・工事下で運動をする場が制限されていたことから、学校評価においても体力の向上について評価がひくかった。運動の場の設け方やマラソンの復活など、運動内容及びその方法を工夫し、体力・運動能力の向上を目指す。

(4) 外国語科・外国語活動の充実によるコミュニケーション能力の育成

- ・教育課程特例校の指定を受け、1年生から一貫したカリキュラムによる英語教育を実践する。この中で分かり合おうとする姿勢や呼応力を伸長し、コミュニケーション能力を育成する。
- ・学習事項を活用して外国の方々とは話を楽しむ国際交流会を目標に、英語に慣れ親しむ環境づくりに努める。
- ・挨拶や校内放送を英語で行う英語週間を設定し、英語によるコミュニケーションの日常化を図る。

(5) 地域学校協働活動の充実による多様な学びの場の拡張

- ・教職員は全校児童を視野に入れた児童理解に努め、地域の方々の協力を得ながら多角的な情報を収集し、指導の在り方を検討していく。児童と児童、児童と教師、児童と地域の方々の好ましい人間関係を確立する。
- ・学校行事や授業を公開して情報提供に努め、保護者や地域住民の理解を得ると共に、保護者や地域住民の意見を聴取し、教育活動の改善に努める。

(6) 健康・安全教育の充実による自己管理能力の育成

- ・食育指導を積極的に進めることにより、食への理解を深め、健康への意識を高める。
- ・自然災害や事件・事故等の危険性、安全で安心な学校づくりの意義を理解し、安全な生活を実現するために必要な知識や技能の習得を推進する。
- ・安全な生活を実現するために何が必要かを考え、適切に意思決定し、行動するために必要な力の習得を推進する。